

環境の都ニュース

2015.9.1 NO.83



発行：長岡京市
 環境の都づくり会議
 発行責任者：江川 宗治
 編集担当者：西村日出男

長岡京市の環境と私

長岡京市の夫の実家に移り住んでからもうすぐ3年が経ちます。その間、いろんなことがありました。最初の3か月間は認知症の義父との同居で、毎日何が起こるかわからない、ドキドキの生活を送っていました。夕食時によく義父が「暖くなったら野菜を作りたい」という話をしていたのがきっかけで、義父の死後、庭で野菜を作り始めました。

はじめは庭の2区画を使って、ミニトマト、きゅうり、なす、枝豆を栽培しました。ピギナーズブラックなのか、ミニトマトときゅうりはたくさんでき、なすも美味しくできたのですが、毎日100匹以上のアブラムシと格闘するはめになりました。残念ながら枝豆はほとんどバッタに食われてしまいました。義父の初盆には家でできた野菜をお供えすることができました。

その後、同じ区画で玉ねぎを栽培し、かなり小さめの玉ねぎができました。きっと土の肥料が足りていなかったのでしょうか。また、絹さやも栽培し、春にはたくさんの紫の花を咲かせて、一気に大きな絹さやができました。



今年の夏はミニトマト、きゅうり、枝豆、それに新たなもう1区画でピーマンととうがらしに挑戦しています。昨年の失敗を踏まえて、地面にはわらを敷き、ミニトマトの区画にはバジル、きゅうりの区画にはマリーゴールドを植えたところ、アブラムシはほとんど寄りつかなくなりました。枝豆は少ししかとれませんでした。その他の野菜はいい感じで採れています。

長岡京市は環境に恵まれ、人も穏やかで優しいとてもいいところだと思います。それはきっと人が自然に近いから、自然と共生する術を学べるからなのでしょう。今年から環境の都づくり会議に入会した私も野菜作りをしながら、庭仕事をしながら、もっと自然について学び、周りの長岡京市民の方のように穏やかな優しい人になっていきたいと思っています。

中嶋 陽子

2015年度「環境の都づくり会議」年間主要行事日程・進捗表

2015.8.10

月	共通	環境教育	里山再生・西山F 環境探検隊	ピオトープ	竹林再生	エコチーム(地球 温暖化防止等)	花いっぱい まちあるき	広報等
9	第2回長岡京環境 検定試験(9/6)	環境教育ミーティ ング(9/17)	森林ボランティア(9/6)	プロジェクト会議(月 1回)	竹林再生活動 (毎週月曜)	神足小学校すくす く教室(9/9)	西山体育館・緑サ ボ(随時)	環境の都ニュース 82号発行(9/1)
	環境の都月例会議 (9/8)		森林ボランティアの日 (9/20)			エコチームミーテ ィング(9/15)		
	乙訓DREAMフェ スタ(9/13)							
10	長岡京市環境フェア (第19回市民環境 フォーラム)(10/3)		森林ボランティア (10/4)	プロジェクト会議(月 1回)	竹林再生活動 (毎週月曜)	第十小学校すくす く教室	西山体育館・緑サ ボ(10/7)	
	第7回長岡京竹あ そび(10/10)		西山F環境探検隊- 3(10/18)	竹炭焼き(10/7)	第7回竹あそび (10/10)	エコチームミーテ ィング(10/20)		
	環境の都月例会議 (10/13)		森林ボランティア (10/18)					
11	環境の都月例会議 (11/10)	環境教育ミーティ ング(11/26)	森林ボランティア (11/1)		竹林再生活動 (毎週月曜)	神足小学校すくす く教室	西山体育館・緑サ ボ(11/7)	環境の都ニュース 83号発行(11/1)
			森林ボランティア (11/15)			エコチームミーテ ィング(11/17)		
			リース教室(11/7)	プロジェクト会議(月 1回)		第十小学校すくす く教室		



“竹あそび 2015” 今年もさあ やるぞ！！

ビオトープ、竹林再生の両プロジェクトでは10/10の第7回長岡京竹あそび2015に向けて、9月から本格的に諸準備に取り掛かります。今年の環境の都づくり会議のテーマは“天の川”です。竹筒のローソクの灯りで幅4 mの疑似天の川を作り、竹かごで牽牛と織女の出会いを演出します。幻想的な幽玄の世界を楽しんで頂けるよう、色々と趣向を凝らしています。当日に向けて、まだ暑い日差しの中、竹林から100本近い竹を切出し、その後、約1,000ヶ程の竹筒に裁断、加工し、会場を彩る行燈も作ります。10月に入ると長岡天神公園での竹チップの道、竹の茅の輪づくり、トーテムポールの設置や会場の安全対策等々の作業が待っています。



今年も多くの市民の皆さんに楽しんで頂ける“竹あそび”を目指して、知恵と汗を絞り、頑張ります。興味のある皆さんも是非作業にお力をお貸しください。 ビオトープ、竹林再生PJT 湯川圭造、神山忠



花を咲かそう PJT



花壇整備に奮闘中

奥西 弘武

コンクリートで作られた施設の中の花壇にとって、夏場の高温と乾燥は過酷な状況です。

8月初旬には恒例の若葉カップ（小学生バドミントン全国大会）があり、西山公園体育館や中央公民館には他府県から多くのお客様がありました。私たちもこの時期が晴れ舞台と思い、花壇の整備に力が入ります。

今年も連日メンバー全員が交代制で水やりを実施し、懸命に咲く花々を支援中です。



竹林再生 PJT



長岡第六小学校に待望の井戸水出る

業者の助手を務める湯川圭造さんの1…2…3…の掛け声で手掘りによる井戸掘りが始まった。一番手は1年生と6年生のメンバー5名がそれぞれの綱を持ち一斉に引き、放す事30回、初め緊張していた顔もやがて笑顔になって初めて体験する井戸掘りを楽しんでいた。側で見ていた私達も感無量で胸が熱くなった。



思えば4年前ビオトープと竹林合同で「学校ビオトープでホタルを育てよう」と取り組んできたが自然の生き物を人工飼育することは大変な事業でした。特に水の管理です。ホタル飼育の適温は25度ですが真夏の市水は30度にもなります。そこで考えたのが常時15度の地下水です。時、同じくして各学校に災害時のマンホールトイレ設置案です。

井戸水はトイレや飲料水等の生活用水、また学校菜園や花壇やビオトープへの水、更には子供達が水を大切にしている環境教育にも役立ち地域住民の井戸として活用できます。機械掘りに移行した7月28日、20m掘った所で良質の水が出ました。水量も1分間に78ℓと豊富で、関係者万歳。

子供250人大人延べ336名と地域の多くの人に支えられ完成した六小絆の井戸が末長く活用される事を祈ると共に私達もホタル育成の環境も整ったので子供達に夢を与える、来年のホタル祭りに向けて頑張ります。 濱田保・渡辺節郎





大学生がんばる

小泉川で水あそび



第2回西山ファミリー環境探検隊 西山森林整備推進協議会主催

7月25日(土) 9時~12時 西代橋周辺

参加者 60名 公募参加者 親子37名 (子ども21名)

京都府立大学森林ボランティアサークル「森なかま」12名

市役所(西山森林整備推進協議会)4名、

その他スタッフ 5名

環境の都づくり会議2名(柳沼、加藤)

当日は快晴、ぐんぐん気温が上がり午前中に軽く30度Cを超えました。まずは森なかまさん企画の紙芝居と竹琴づくりです。

1) 紙芝居(森と水がテーマです)

2) 竹琴(チクキン、チックン)づくり

3) 暑いのでスイカ、キュウリを先に食べました。かける塩は食卓塩、チリの赤塩、ヒマラヤの岩塩を食べ比べてみました。テントの下でしたがガンガン照りで水気はなによりでした。

4) 川遊び・・・西代橋下の小泉川の水は澄んでいますが水量が増していました。大きい子どもは幅7mの堰(高さ60センチ)とその上のよどみで大あそび、流れが強く踏んばらないと倒れそう。大きい子どもたちと大学生で水鉄砲や手の水かけが始まり、水しぶきが飛び交い何人もズブヌレになりました。子どもさんと大学生の元気に脱帽。12時解散、子供たちはぐっしょり、ぐったりで昼食がすんだらすぐ昼寝したかもしれません。

森なかまさんありがとうございました。

次回は10月18日(日)です。10月市民広報で募集します。

里山再生PJT 加藤 克己

申込受付中

長岡京環境検定

主催：長岡京市

9/6(日)

PM2:00~3:45 (PM1:30開場)

長岡京市立図書館3階 大会議室



受験された方全員に
受験記念バッジをプレゼント!
優秀者には表彰と賞品も!!

Let'sチャレンジ!
環境づくりへの
第一歩!



- ◆受験料：無料 ◆定員 100名 ◆申込制
 - ◆出題数：50問 ◆検定時間：60分 ◆申込締切日 8/28(金)
 - ◆出題範囲：『広報長岡京』(平成27年1月1・15日号～7月15日号)と基礎知識
 - ◆出題分野：広義の環境(自然環境、生活環境、歴史、文化、景観、交通など)
- ※過去の『広報長岡京』は市役所南棟1階の市民情報コーナーや市ホームページでも閲覧できます。

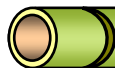
長岡京市第二期環境基本計画では、市民が主体となって取り組むステップアップ・チャレンジ事業を掲げています。今年で2回目となる『長岡京環境検定』は「環境づくりの市民力アップ!」事業の一環として、市民の皆さんが市の環境に関心を持ち、次世代と共に環境配慮の実践に取り組むことを目指して、市民を中心に企画運営を行っています。

お申込み、お問合せは下記までお気軽に!(住所・氏名・年齢・連絡先を記入)
長岡京市役所 環境政策監 環境政策担当
TEL: 955-9542 FAX: 951-5410
Eメール: kankyouseisakukan@city.nagaokakyo.kyoto.jp

「何か変 旋風雷 サメに猿」
「大損の 穴を埋めんと 国富論」
「一番を 競うだるや カキ氷」
「ヒートする クマとアブラの せめぎ合い」

エコ川

「長岡京環境検定」で検索すれば、申し込み方法や、昨年の様子、問題、解答などが掲示されています。



環境教育 PJT



第81回 環境教育ミーティング

(平成27年度のテーマ: 自然と環境)

農用林概念を用いた

環境教育の実践

参加 無料

日時: 平成27年 9月 17日(木) 夜7~9時

会場: 長岡京市立 中央公民館 2階・講座室

講師: 杉本 史生さん (認定NPO法人気候ネットワーク)

講師プロフィール

1975年生まれ。専門は環境教育、農業教育。農学博士(京都大学)。主な著作は、博士論文『食文化と里山をめぐる環境教育の教材・プログラム開発の基礎研究—教科書における農業の外部効果と農用林に関する記述分析を中心として—』(2015年)



里山と関連する言葉に農用林があります。環境教育の実践に携わる人々が、人間と里山との関係史を教育内容として取扱う。そのうえで、農用林という言葉の意味内容を用いることの有用性について、お話します。



「使用済み天ぷら油」を集めています

使用済みの天ぷら油をどのように処理していますか。流しに流すと下水処理場で処理するのに大変手間がかかります。固形にしてごみとして廃棄すると、焼却ごみを増やすことになり、CO2の増加につながります。食用油は残さず使い切るのが一番いいのですが、もし残った場合、回収してもう一度使うシステムがあります。

長岡京市には34箇所の回収ステーションがあり（写真の旗が目印です）、1年間に約12500リットルの油が回収されています。回収された油は化学処理されて、バイオディーゼル燃料（BDF）として、ディーゼル車で軽油の代わりに使うことができます。



回収ステーションに立てられている旗

長岡京市内では（有）長岡美装社殿の回収車（写真）等に使われています。

あなたも使用済みの天ぷら油を回収してみませんか。

お近くのステーションが環境の都づくり会議までご連絡下さい。

エコチーム 田原誠一郎、協力（有）長岡美装社殿



BDFを使ったディーゼル車



トピックス



「長岡京竹あそび2015」のご紹介

今年で第7回目となる長岡京竹あそびが下記にて開催されます。

日時：10月10日（土）12時～20時 雨天時は翌11日に順延

会場：長岡公園一帯（長岡天満宮内）

主催：長岡京竹あそび連絡協議会 共催：長岡京市



“竹でつなぐ・つながる・まちづくり”を合言葉にして放置竹林や環境問題と竹の有効活用などを、皆で楽しいあそびなどをまじえて考えなおすきっかけ作りにしようとするイベントです。「長岡京竹あそび2015」で検索してみてください。（江川 宗治）



★☆☆ 環境の都づくり会議のプロジェクトと連絡先 ☆☆☆

プロジェクト名	内容	連絡先	T E L
里山再生PJT	里山再生	加藤 克巳	951-0933
環境教育PJT	環境教育	西村 日出男	952-3718 (=FAX) sun246ra@mbox.kyoto-inet.or.jp
エコチームPJT	地球温暖化防止	田原 誠一郎	953-1696
ビオトープPJT	ビオトープ	神山 忠	090-1919-5282
花を咲かそうPJT	花を咲かそう	湯川 智子	952-5505
竹林再生PJT	竹林再生	湯川 圭造	090-8759-1757
環境の都づくり会議 代表	活動全般	江川 宗治	957-6169 (=FAX) egawam@kyoto.zaq.ne.jp

事務所：多世代交流ふれあいセンター内（〒617-0812 長岡京市長法寺谷山13-1）

環境の都づくり会議のホームページを作りました。各PJTの活動内容と写真などが有ります。是非ご覧ください。

「長岡京市環境の都づくり会議」で検索して下さい。アドレス＝ <http://kankyonomiyako.jimdo.com/>

「環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。協賛金：一口年間1000円（一口以上）あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。連絡、問い合わせは上記プロジェクトの連絡先へ下さい。

編集後記：読者のみなさま方から「声」をお寄せ頂ければ、大変に励みになります。私たちはこの歴史のまち長岡京市を「環境の都」にしたいとの想いで活動しています。ご一緒に活動してみませんか。